

報道関係各位

会社名 株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント  
代表者名 代表取締役社長 鳥越 慎二  
(JASDAQ コード 8769)

---

## 被災者の心のケアを長期的にサポートする震災対応カウンセリングを開始 出張カウンセリング・研修に対応、東北エリアでのカウンセリングルーム開設も予定

---

東北地方太平洋沖地震により被災された皆様、ならびにご関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:鳥越 慎二、以下 ARM)は、この未曾有の震災被害に対し、被災者と関係者の皆様への心のケアを通じて復興を支援して参ります。

弊社では、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)により被災された従業員の皆様とご家族への長期的な心のケアが今後必要になることから、東北エリアなどにおいて長期に渡るサポートを提供する震災対応カウンセリングサービスを開始します。

震災後の時間の経過に応じて、必要となるメンタルヘルスケアの内容は変化し、時期に応じた適切なケアの継続実施が求められます。震災直後においては、被災者の方が直面している課題を落ち着いて解決することを支援するのが優先であり、PTSDやうつに対応したカウンセリングサービスが求められる時期は震災1ヵ月後以降と言われてい

ます。  
また、今回の震災では被災者の方の居住地や避難地域が非常に多岐に渡ることから、まずは震災ストレスに対する正しい対処法を説明した震災時の心のケア対応マニュアルを顧客企業へ配布し、人事担当者への説明会を実施します。

加えて、企業向けに、実際に被災された従業員やご家族を対象として、震災時の心のケアについての集合研修、出張カウンセリングそして一定期間の継続カウンセリングを組み合わせた「被災地対応メンタルヘルスケアパッケージ」の提供を開始いたします。

震災に対応したサービス提供の体制を強化するため、カウンセラーの増員や電話カウンセリングのための回線増設、東北エリアでの新たな直営カウンセリングルームの開設や、スカイプ(Skype)を利用したテレビ電話カウンセリングや携帯電話でのメールカウンセリング、PTSD/うつ対策のためのe-ラーニングなどの提供も順次実施します。

今後とも弊社は全力を挙げて震災からの復興に尽力してまいります。被災地の皆様の一日も早い復旧・復興を心より祈念いたします。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント <http://www.armg.jp>

広報担当 : 熊澤 一晃 / 菊田 卓

TEL:03-5794-3807 FAX:03-5794-3909

【添付資料】

◆図表：震災後のストレスに関する時期別対応のポイントと対応サービス

時期	震災後1ヶ月目まで	1～2、3ヶ月目	2、3ヶ月目以降
注意すべき対応ポイント	<b>急性期※への対応</b> 心身ともに安心し、落ち着いて課題解決ができるよう支援することが重要  ※急性期：初期段階の症状が比較的激しい時期	<b>PTSDへの対応</b> PTSDの診断が現れる時期であり、その人たちの判別、ケアが必要	<b>「うつ」への対応</b> うつ状態に移行する人たちが出てくる時期であり、腰をすえたうつ対応が重要
当社の対応サービス	・初期対応マニュアル	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張カウンセリング／研修会</li> <li>・東北エリアカウンセリングルームでの面談カウンセリング※</li> <li>・インターネットを利用したテレビ電話カウンセリング(Skype)※</li> <li>・携帯電話を利用したメールカウンセリング※</li> </ul> </div> ・PTSDへの対応マニュアル※ ・PTSD対策 eラーニング※	・うつへの対応マニュアル※ ・うつ対策 eラーニング※
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             企業人事部向け震災後の心のケア対応説明会           </div>			

※ = 今後対応を予定しているサービス

【株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメントについて】

「『安心して働ける環境』と『活力ある個と組織』を共に創る」を企業理念に、先進的な人事ソリューションを提供しています。GLTD 分野では、国内トップシェアの延べ30万人への導入実績を有するほか、メンタル疾患による休業の急増に対応するため、2002年より職場におけるメンタル疾患早期発見・早期対応プログラム「アドバンテッジ EAP」を東京海上日動メディカルサービス株式会社の精神科医と共同で開発し、29万人に活用されており、グループ全体では75万人が利用する国内最大のメンタルヘルスサービスプロバイダーとして、企業向けにメンタルヘルスに関する総合的なサービスを提供しています。2010年7月には株式会社イー・キュー・ジャパンよりEQ事業を譲り受け、EQ(感情能力)に関する検査・教育研修・組織分析サービスを通じて、新たに人材採用・教育分野におけるサービスも拡充しています。